

水稻の生育状況と今後の管理対策（第1号）

令和3年6月1日
新潟県農林水産部

〔5月31日現在の県内全域の生育概況〕

- ◎ コシヒカリでは指標値（生育のめやす）に比べ、草丈は「やや長い」、茎数は「少ない」、葉数の進みは「並」の状況です。
- ◎ 新之助では指標値に比べ、草丈は「短い」、茎数は「少ない」、葉数の進みは「遅い」状況です。

〔気象予報と今後の生育見込み〕

- ◎ 5月27日発表の1か月予報（5月29日から6月28日）によると、平均気温は平年より高く、降水量と日照時間はほぼ平年並と予想されています。
- ◎ 梅雨前線の活動も活発化しており、北陸地方の梅雨入りは、平年より早まる可能性も考えられます。
- ◎ 高温が続き、6月中頃以降は平年と同様に曇りや雨の日が多い予想であることから、コシヒカリでは、中干し^{*1}の遅れや長梅雨により中干しの効果が不十分となり、昨年同様、長草化と細茎化による著しい倒伏の発生が懸念されます。
- ◎ 県の調査ほ（田植え日の平均は5月12日）における生育状況では、今年の中干し開始適期は田植後日数で31日と予測されます。適期より5日遅れた場合、茎数は目標値の1.4倍に急増すると予測されることから、遅れずに中干しを開始する必要があります。

*1 中干し（なかぼし）：田の水を落として、一時的に田を乾かすこと。

〔今後の管理対策のポイント〕

コシヒカリ

- ◎ 連休植えのほ場や生育が過剰になりやすいほ場では、ただちに生育を確認し、遅れずに中干しを開始してください。
- ◎ 高温気象により茎数が短期間のうちに急増し、中干しの適期を見逃してしまう可能性が高いことから、田植え後25日を過ぎたら生育を必ず確認し、適期を逃さず中干しを開始するとともに、溝切りも確実に実施してください。
- ◎ 地温の上昇にともない、田のワキ^{*2}の発生が多くなることが予想されます。生育が遅れ、ただちに中干しに入れないほ場では夜間落水等を行い、根腐れや生育停滞を防止しましょう。

新之助

- ◎ いもち病の伝染源となる補植苗はただちに除去してください。
- ◎ 5月20日以降の田植えでは、気温の上昇により茎数の急増が予想されるため、分げつの発生状況に十分留意してください。
- ◎ 化成の全量基肥施肥^{*3}では茎数が増加しやすいので、目標穂数の7～8割を確保したらただちに中干しを開始してください。

*2 田のワキ：稲わらなどが分解する際、ガスが発生すること。

*3 全量基肥施肥：全生育期間に必要な肥料成分を、田植え前又は田植え時に一括して施す施肥法

- ◎ 今後の管理対策発信予定日

6月11日・22日、7月1日・9日・21日・27日・30日、8月20日、9月10日

〔補足資料〕

1 農業普及指導センター及び作物研究センターの生育状況（5月31日現在）

コシヒカリ

- 指標値（生育のめやす）に比べ、草丈は「やや長い」、茎数は「少ない」、葉数の進みは「並」の状況です。

項目	本年値	指標値 (県平均)	指標値 との比較	指標値比・差
草丈	25 cm	23 cm	やや長い	109%
茎数	81 本/m ²	91 本/m ²	少ない	89%
葉数	4.9 葉	4.8 葉	並	+0.1 葉

注) 県内全域の115生育調査ほデータの平均値（田植え5月10日、栽植密度16.9株/m²）

新 之 助

- 指標値（生育のめやす）に比べ、草丈は「短い」、茎数は「少ない」、葉数の進みは「遅い」状況です。

項目	本年値	指標値	指標値 との比較	指標値比・差
草丈	20 cm	24 cm	短い	85%
茎数	69 本/m ²	81 本/m ²	少ない	85%
葉数	4.1 葉	4.8 葉	遅い	-0.7 葉

注) 県内全域の15生育調査ほデータの平均値（田植え5月17日、栽植密度16.4株/m²）

こしいぶき（参考）

- 指標値（生育のめやす）に比べ、草丈は「並」、茎数は「少ない」、葉数の進みは「遅い」状況です。

項目	本年値	指標値	指標値 との比較	指標値比・差
草丈	22 cm	22 cm	並	100%
茎数	83 本/m ²	146 本/m ²	少ない	57%
葉数	4.9 葉	5.7 葉	遅い	-0.8 葉

注1) 化学肥料栽培。田植え5月10日、栽植密度は20.7株/m²

注2) 基肥窒素成分量 3.0kg/10a

注3) 長岡市長倉町（作物研究センター）の生育調査ほデータ

2 気象感応ほの生育から見たコシヒカリの中干し適期の予測（5月31日現在）

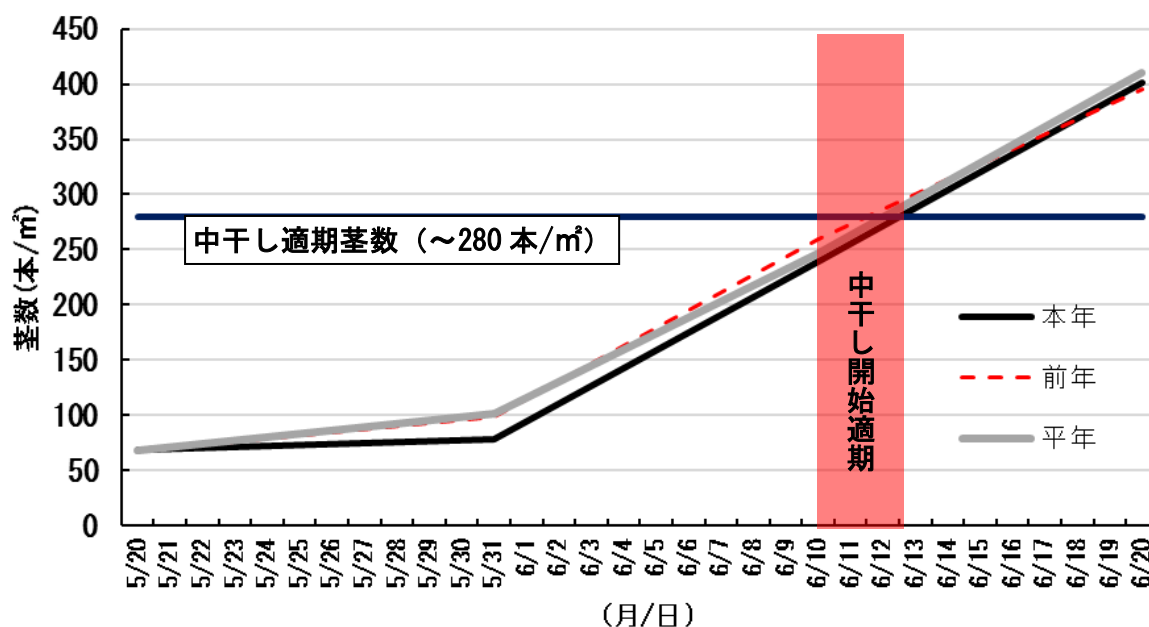
- コシヒカリの目標穂数 350 本/㎡の 70～80%（茎数で 240～280 本/㎡、50 株/坪植えて 1 株あたりの平均茎数 15 本程度）となる中干し適期は、5 月 31 日現在の予測値で 6 月 12 日、田植後日数は 31 日となっています。

（1）コシヒカリの中干し適期の予測（全県の気象感応ほ 15 か所の平均）

	播種期 (月日)	移植日 (月日)	栽植密度 (株/㎡)	茎数 (5/31) (本/㎡)	中干し開始適期予測	
					月日	田植後日数
本年	4 月 19 日	5 月 12 日	17.0	78	6 月 12 日	31
前年	4 月 17 日	5 月 12 日	16.9	98	6 月 11 日	30
平年	4 月 18 日	5 月 12 日	17.0	101	6 月 11 日	30

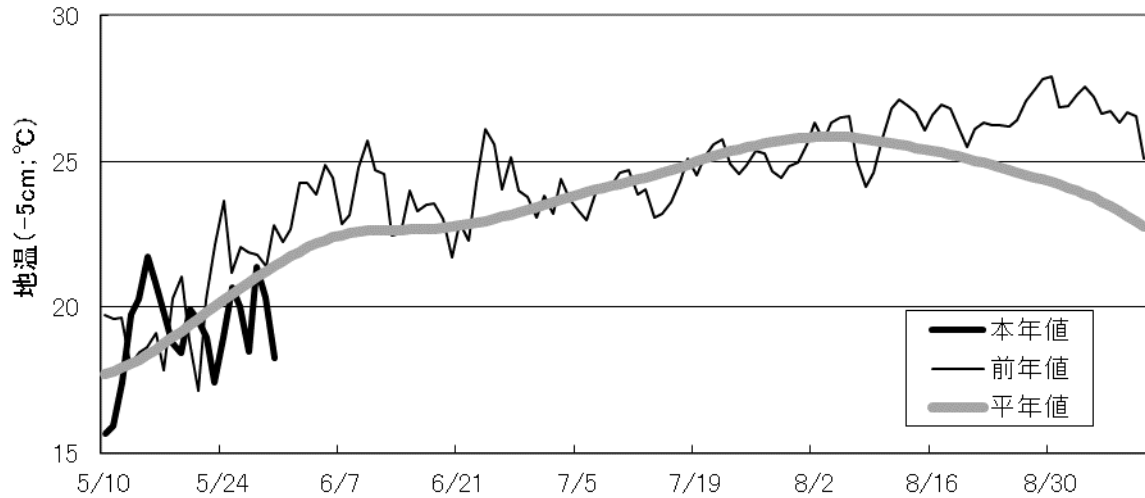
注) 2001～2020 年のデータから予測式を作成、本年 5 月 31 日現在の茎数と 6 月 10 日までの平均気温（新潟県の 2 週間気温予報に基づく）から、中干し適期(280 本/㎡となる時期)を予測

（2）コシヒカリの推定茎数の推移（全県の気象感応ほ 15 か所の平均）

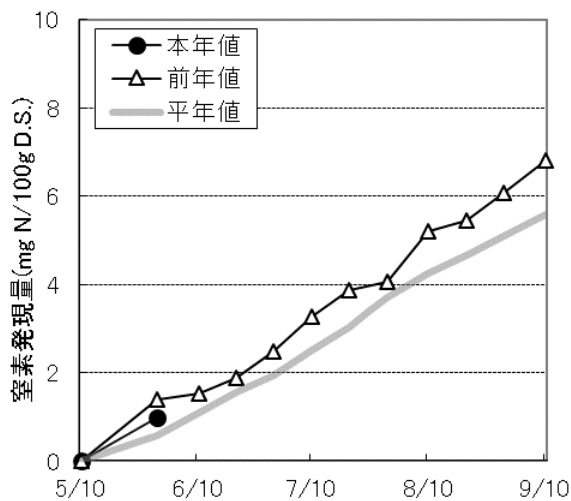


3 ちりよく 地力窒素の発現状況

- 5/10～5/29 の期間の日平均地温は平年差-0.1℃で平年並でした。この期間の地力窒素の発現量は、平年よりやや多く、条間窒素も平年よりやや多くなっています。

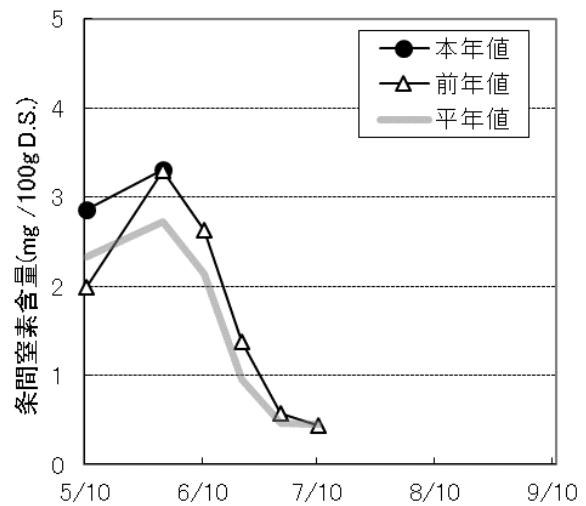


水田地温 (-5 cm) の推移
(農業総合研究所内ほ場、基盤研究部調査)



地力窒素の発現推移
(農業総合研究所内ほ場、基盤研究部調査)

初期値=0、移植日：5月10日、化学肥料栽培
基肥窒素成分量：3.5 kg/10a



条間窒素含有率の推移
(農業総合研究所内ほ場、基盤研究部調査)

移植日：5月10日、化学肥料栽培
基肥窒素成分量：3.5 kg/10a